

# ひとの創生

基本目標
H26 H31
転出超過数 250人 → 125人

基本目標数値【H27】
251人

基本目標に対する総合評価
○転出超過数については、平成27年度数値は251人と前年度と比較して、ほぼ横ばいとなっている。(人口動態の詳細については、別紙)
○KPIの達成に向けた平成27年度の取組みについては、おおむね順調と考えるが、転出超過数の減少に結びついていない。
○そのため、現在の取組みを引き続き進めつつ、まち・ひと・しごと創生総合戦略の方向性や事業実施内容について点検を行い、現状に即した施策・事業を実施することにより、転出超過数の減少につなげていきたいと考えている。

## ①結婚、妊娠、子育てに関する切れ目のない支援

(KPI)	H26	現在値	H31
支援ニーズの高い妊産婦への支援実施の割合	-	-	100%
ファミリーサポートセンター登録会員数	316人	338人	420人
病児・病後児保育室の受入定員	2名	2名	4名以上

※現在値はH28.3.31現在

行政の取組内容	評価(KPIの達成度、今後の対策など)
○地域における子育て支援の内容の充実については、竹原市子ども・子育て支援事業計画に基づき、地域子育て支援センターでの子育てに関する相談・親子の交流の場の提供や、一時預かりなどの事業を継続して実施するとともに、ファミリーサポート、病後児保育及び放課後児童クラブの対象範囲を小学6年生までに拡大し、事業の拡充を図った。 ○ワンストップで気軽に相談できる体制づくりについては、妊娠から出産、子育てに至る各時期において妊産婦を支援する子育て世代包括支援センター事業の創設に向けて取組みを行った。 ○病児保育環境の整備については、関係者との協議を進め、仕事と子育ての両立を支援するため、新たな保育室の開設に向けて取組みを行った。	○支援ニーズの高い妊産婦への支援については、子育て世代包括支援センターの平成28年度開設に向け、助産師等の確保や環境整備など事前準備を行った。今後は、実際の活動を通して、より具体的な支援の方策を検討し、支援の割合を高めていく。 ○ファミリーサポートセンター登録会員数については、保護者の集まる場等で事業内容の周知を図り、対前年度と比較して22名増加した。利用件数も平成26年度と比べ急増しており、事業の周知が進み、利用者ニーズも捉えることができていると考えている。今後も、地域における育児の相互援助活動を推進するため、更なる事業内容の周知を図り、会員数の増加に努める。 ○病児・病後児保育室の受入定員については、平成29年4月の病児保育の開始に向け、関係者との協議とともに事前準備を行った。引き続き、施設整備や受入体制等の準備・調整を行い、安心して子育てができる環境を整備していく。

## ②学校教育の充実

(KPI)	H26	現在値	H31
学力が定着している児童生徒の割合(小学校) 全国学力・学習状況調査	国語A 75.6(-0.4) 国語B 55.7(-4.5) 算数A 81.6(+1.1) 算数B 58.1(-3.3)	国語A 75.8(+2.0) 国語B 70.9(+1.2) 算数A 80.4(+2.7) 算数B 48.5(+1.8)	県平均3%以上
(中学校) 全国学力・学習状況調査	国語A 78.0(-2.6) 国語B 49.3(-3.1) 数学A 66.1(-3.4) 数学B 58.6(-3.1) 英語 68.4(+0.3)	国語A 76.3(-0.2) 国語B 67.5(+0.5) 数学A 63.8(-0.8) 数学B 39.4(-3.3) 英語 66.1(-2.1)	県平均2%以上
「基礎・基本」定着状況調査			
英語検定3級取得の中学生の割合	20%	23%	30%
「基礎・基本」定着状況調査の情意面アンケート「自分の住んでいる地域のこと好きか？」	小学校 88.5 中学校 77.1	小学校 88.0 中学校 86.2	小学校90.0 中学校90.0

※現在値はH28. 3. 31現在

行政の取組内容	評価(KPIの達成度、今後の対策など)
○主体的な学びの促進については、ICTを効果的に活用した指導の工夫を促すとともに、学びの変革パイロット校である竹原小学校を中心に課題発見・解決学習を通じた思考力・表現力・判断力の育成を図った。 ○実践的なコミュニケーション能力の育成については、外国語指導助手(ALT)の効果的な活用や指導の工夫の促進により、児童生徒のコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図った。 ○故郷を大切に思う気持ちを醸成するふるさと教育については、竹原っこ夢プロジェクトによる地域の資源を活用したダイナミックな取組やキャリアスタートウィーク事業により児童生徒の郷土を愛し、大切にしようとする心情の育成を図った。 ○地元の公立学校の魅力を更に向上させるための仕組みづくりについては、小・中学校においてICT機器を活用した先進的な教育を推進することで特色ある教育を実現するとともに、高等学校教諭の中学校への乗り入れ授業やクラブ活動での生徒間の交流など、効果的な中高連携を通して、系統的な質の高い教育を推進している。	○学力が定着している児童生徒の割合については、小学校においては、授業改善の推進や家庭学習の充実等の取組の成果が現れている。中学校においては、今後も継続して、調査結果を踏まえた授業改善に組織的に取り組む必要がある。今後は、小学校と中学校との連携を充実させ、9年間で計画的に児童生徒の学力向上を図っていく。 ○英語検定3級取得の中学生の割合については、徐々に増加している状況である。今後も、生徒の受検促進に取り組むよう研修等で促すとともに、チームティーチング等により英語に興味を持つ児童生徒をさらに増やし、取得割合の向上を図る。 ○「自分の住んでいる地域のこと好き」と回答する児童生徒の割合については、現在数値の向上はないが、竹原っこ夢プロジェクトやキャリアスタートウィーク事業により、児童生徒の郷土愛の育成は進んでいると捉えている。今後も、地域資源をさらに開発し、竹原のよさを感じ取ることができる取組を進めていく。

## ③観光の振興

(KPI)	H26	現在値	H31
入込観光客数	893千人	1,018千人	900千人
町並み保存地区を訪れる外国人観光客数	243人	261人	500人
観光消費額	2,663百万円	2,730百万円	2,800百万円

※現在値はH27. 12. 31現在

行政の取組内容	評価(KPIの達成度、今後の対策など)
○地域資源の保全活用については、町並み保存地区の文化財保存や修理・修景などの景観保全事業及び物産・飲食・情報発信機能等を担う道の駅の管理運営事業を実施した。 ○広域エリアでの観光ルートの形成等については、Hiroshima Free Wi-Fiを市内4箇所に整備し、広島市を中心とした広域観光施策に参画するとともに、近隣市町と連携した周遊キャンペーンなどの取組みを行い、広域エリアでの観光、周遊促進を行った。 ○外国人観光客を含む市内を回遊させる受入環境の整備等については、平成27年度においては今後の外国人受入施策の指針となる「外国人目線で作る」竹原ブラッシュアップアクションプラン」を策定した。 また情報発信機能の充実を図るとともに、外国人による着物の着付け体験など体験メニュー型の事業を試行した。	○NHK連続テレビ小説「マッサン」等の影響により平成27年の入込観光客数(1,018千人)は目標値(900千人)を達成したが、町並み保存地区を訪れる外国人観光客数(261人)及び観光消費額(2,730百万円)は目標値(それぞれ500人、2,800百万円)を達成できていない。 ○今後は、飲食店や宿泊事業者の情報発信の強化やHPの多言語化などのインバウンド施策など、外国人を含む観光客が市内を周遊できる魅力的な取組を推進し、観光消費額の増加につなげていく。

## ④情報発信力の強化

(KPI)	H26	現在値	H31
報道件数	55件	61件	80件
HPアクセス件数	280,427件	342,041件	300,000件
フェイスブック「いいね」件数	1,251件	1,679件	1,800件
ツイッター「フォロワー」数	2,885件	3,495件	4,200件

※現在値はH28. 3. 31現在

行政の取組内容	評価(KPIの達成度、今後の対策など)
○NHK連続テレビ小説「マッサン」やアニメ「たまゆら」、大久野島、市内での各種イベント等の観光情報や子育て世帯地域優良賃貸住宅等の市の事業等を各種媒体で情報発信した。 ○また、連携中枢都市圏制度を活用し、関係市町のイベント情報等をそれぞれの広報誌に掲載する等、近隣市町との相互情報発信やテレビ広報の実施に向け協議を行った。	○NHK連続テレビ小説「マッサン」やアニメ「たまゆら」、大久野島等の観光客増加の影響により、KPIにかかげたHPアクセス件数等は概ね順調に伸びている。 ○今後は、「マッサン」によって一時的に増加していた観光客数の減少やアニメ「たまゆら」の終了による影響等により、アクセス件数等が減少しないよう、市内での各種イベント等の観光情報、子育て情報等の市民生活に深く関わりのある行政情報の発信件数を増加させるとともに、HPやWi-Fi等の情報発信媒体のログ分析により、更に効果的な情報発信手法や新たな情報発信媒体の導入を検討する。また、連携中枢都市圏制度を活用した近隣市町との相互情報発信やテレビ広報も実施予定。

個別事業シート

基本目標 柱  
 ひとの創生  
 ①結婚、妊娠、子育てに関する切れ目のない支援

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当する章・節	チャレンジプロジェクト		国	県	その他	一財		
第3子以降3歳以上児保育料軽減事業	H27	安心して子どもを産み育てる環境づくりのため、扶養する子(満18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある者)が3人以上いる世帯の「第3子以降の3歳以上児」に係る保育料から2,500円を減額する。(平成27年度からの独自施策)	多子世帯については、子ども・子育て支援新制度の開始により、保育料の増額が見込まれることから、第3子以降3歳以上児の保育料を減額し、保護者の経済的負担を軽減した。 【H27実績】(H27開始) ○対象者 74人 ○影響額 2,163,900円	【目的】安心して子どもを産み育てる環境づくりのため、子育てをする多子世帯の保護者の経済的負担を軽減する。 【目標数値】	社会福祉課	第1章 子どもが夢をもち人が輝くまちづくりへの挑戦 第1節 子育て環境の充実	チャレンジプロジェクト1 ・子育て環境(産科、小児医療、保育サービス等)の確保・充実					0	—	【担当課意見】対象となる多子世帯に対し軽減措置を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減につながっている。 【今後の見通し】平成28年度からの保育所等の利用者負担軽減措置とともに、引き続き実施する。
第3子以降3歳未満児保育料無償化事業	H27	安心して子どもを産み育てる環境づくりのため、扶養する子(満18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある者)が3人以上いる世帯の「第3子以降の3歳未満児」に係る保育料を無料とする。(平成22年度からの独自施策)	対象となる児童の保育料を無料とし、多子世帯の保護者の経済的負担を軽減した。 【H26実績/H27実績(H26実績との差)】 ○対象者 62人/46人(△16人) ○影響額 15,088,000円/11,619,250円(△3,468,750円)	【目的】安心して子どもを産み育てる環境づくりのため、子育てをする多子世帯の保護者の経済的負担を軽減する。 【目標数値】	社会福祉課	第1章 子どもが夢をもち人が輝くまちづくりへの挑戦 第1節 子育て環境の充実	チャレンジプロジェクト1 ・子育て環境(産科、小児医療、保育サービス等)の確保・充実					0	—	【担当課意見】対象となる多子世帯に対し軽減措置を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減につながっている。 【今後の見通し】平成28年度からの保育所等の利用者負担軽減措置とともに、引き続き実施する。
放課後児童クラブ事業	H27	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の修了後に小学校の余裕教室等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供し児童の健全な育成を図る。 【対象児童】小学校6年生まで 【実施箇所】市内9校のうち8校区(7箇所)で実施。(直営5箇所、委託2箇所) 【定員】230人 【開設時間】平日14:00~18:00、学校休業日8:00~18:00(日、祝、お盆、年末年始を除く) 【保護者負担金】児童一人当たり月額3,000円	忠海小中一貫校設立に伴い、同校敷地内に放課後児童クラブ室を開設するとともに、定員を上回る利用希望のあった竹原西放課後児童クラブについては、学校と調整し2教室で受け入れを行い、市内7箇所8教室で放課後児童健全育成事業を実施した。また、支援員の資質の向上のため、支援員研修会を実施した。 【H26実績/H27実績(H26実績との差)】 ○利用者数 177人/209人(+33人)	【目標】保護者の就労支援と児童の健全育成を図るため、放課後児童健全育成事業を実施する。 【目標数値】(H31年度までに)利用者数178人(子ども・子育て支援事業計画)	社会福祉課	第1章 子どもが夢をもち人が輝くまちづくりへの挑戦 第1節 子育て環境の充実	チャレンジプロジェクト1 ・子育て環境(産科、小児医療、保育サービス等)の確保・充実	61,010,458	15,484,000	15,484,000	6,702,000	23,340,458	○	【担当課意見】対象範囲を拡大し、受入環境の充実したことにより、利用者数も増加しており、保護者の子育て・就労支援につながっている。 【今後の見通し】継続して取り組むとともに、吉名小中一貫校開校に合わせ児童クラブの新設及び利用児童の増加に対応した竹原西児童クラブの増設を行う。
地域子育て支援拠点事業	H27	子育て中の親の孤独感や不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援するため、乳幼児とその保護者が気軽に集うことができる場を提供し、子育てについての相談・援助・関連情報の提供、子育てに関する講習等を行う。	ミルクハウス(市内各保育所及び公民館等で実施)、ゆりかこ(竹原市中央児童館)、つくしんぼ(ふれあい館ひろしま)の3つの支援センターにおいて、子育てサークルの実施、絵本の読み聞かせ、子育て講演会、子育て相談などを実施した。 【H26実績/H27実績(H26実績との差)】 ○延べ利用者数 19,119人/20,793人(+1,674人) ○うち子どもの利用者数(月間) 853人/934人(+81人)	【目標】子育ての悩みや不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援するため、子育て親子の交流を促進する。 【目標数値】(H31年度までに)月間利用者数(子ども)1,250人(子ども・子育て支援事業計画)	社会福祉課	第1章 子どもが夢をもち人が輝くまちづくりへの挑戦 第1節 子育て環境の充実	チャレンジプロジェクト1 ・子育て環境(産科、小児医療、保育サービス等)の確保・充実	22,594,256	7,531,000	7,531,000		7,532,256	○	【担当課意見】子育ての悩みや不安感を緩和する事業を実施し、利用者も増加しており、子どもの健やかな育ちの支援につながっている。 【今後の見通し】核家族化による子育ての孤立化等を防ぐため、引き続き、広報紙やkid'sめるまが等により子育てに関する情報発信を行い、利用促進を図る。
ファミリーサポートセンター事業	H27	子育て家庭の多様なニーズに対応するため、乳幼児や小学生の預かり等の援助を受けたい者と援助を行いたい者との相互援助活動に関する連絡・調整を行い、地域における育児の相互援助活動を推進する。 【対象児童】小学校6年生まで 【利用時間等】平日7:00~19:00/1時間600円その他の曜日・時間/1時間あたり700円 ※利用料金の半額を市が助成(上限あり)	保育施設等への送迎や終了後の子どもの預かり等の相互援助活動の調整や、親子での交流会、協力会員のステップアップ講座等を実施した。 【H26実績/H27実績(H26実績との差)】 ○登録会員数 316人/338人(+22人) ○延べ活動件数 463件/1,589件(+1,126件)	【目標】子育て家庭の多様なニーズに応えるため、登録会員の拡大を図り、利用しやすい提供体制を整える。 【目標数値】(H31年度までに)登録会員数 420人	社会福祉課	第1章 子どもが夢をもち人が輝くまちづくりへの挑戦 第1節 子育て環境の充実	チャレンジプロジェクト1 ・子育て環境(産科、小児医療、保育サービス等)の確保・充実	3,654,701	1,066,000	1,066,000		1,522,701	○	【担当課意見】事業内容を周知に取り組み、会員数・活動回数が増加しており、子育て支援につながっている。 【今後の見通し】利用しやすい提供体制を確保するため、事業内容の周知を図り、会員数の拡大に努める。
一時預り事業	H27	安心して子育てができる環境を整備し、もって児童の福祉の向上を図るため、家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児を、認定こども園、保育所、地域子育て支援拠点等において、一時的に預かり、必要な保育を行う。	公立保育所(2箇所)・私立認定こども園等(6箇所)の8箇所において実施した。 【H26実績/H27実績(H26実績との差)】 ○延べ利用者数 3,102人/4,006人(+904人)	【目標】保護者の一時的な保育ニーズに応えるため、預かり保育を実施する。 【目標数値】(H31年度までに)延べ利用者数2,904人(子ども・子育て支援事業計画)	社会福祉課	第1章 子どもが夢をもち人が輝くまちづくりへの挑戦 第1節 子育て環境の充実	チャレンジプロジェクト1 ・子育て環境(産科、小児医療、保育サービス等)の確保・充実	6,226,090	2,075,000	2,075,000	351,750	1,724,340	○	【担当課意見】保護者の保育ニーズに適切に対応し、利用者も増加しており、子育て環境の充実につながっている。 【今後の見通し】事業の周知を図るとともに、保護者の保育ニーズに応じた事業の充実に努めている。

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当する章・節	チャレンジプロジェクト		国	県	その他	一財		
延長保育事業	H27	安心して子育てができる環境を整備し、もって児童の福祉の向上を図るため、保護者の勤務条件や家庭の事情などにより、支給認定時間を超えて、引き続き保育所・認定こども園を利用する児童に対し、早朝・夕方保育を実施する。 早朝 7:00～7:30 (3園) 夕方18:30～19:00 (全園) (保育短時間の場合は、利用時間以降)	市内すべての保育所及び認定こども園において延長保育を実施した。 【H26実績/H27実績(H26実績との差)】 ○実利用者数 177人/209人(+33人)	【目標】 就労と子育ての両立を支援するため、保護者のニーズを踏まえ、保育所・こども園で延長保育を実施する。 【目標数値】(H31年度までに) 実利用者数140人 (子ども・子育て支援事業計画)	社会福祉課	第1章 子どもが夢をもち人が輝くまちづくりへの挑戦 第1節 子育て環境の充実	チャレンジプロジェクト1 ・子育て環境(産科、小児医療、保育サービス等)の確保・充実	2,400,000	800,000	800,000		800,000	○	【担当課意見】 保育所、こども園において受け入れ体制が整っており、必要性に応じ利用可能となっている。 【今後の見通し】 子育てと就労の両立を支援するため、継続して取り組む。
病後児保育事業	H27	保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに児童の健全な育成を図るため、病気の回復期であり、集団保育が困難な児童で、保護者が勤務等の都合により家庭での保育が困難な場合に、専用施設において、看護師等が一時的に保育を行う。 【実施場所】ふれあい館ひろしま「さくらんぼ」 【対象児童】小学校6年生まで 【定員】2名 【利用料】2,000円/日(市外2,600円)、1,500円/半日(市外2,000円)	病後児保育室「さくらんぼ」で病後児の受け入れを行うとともに、病後児保育室の利用の少ない日において、保育所等へ感染症流行状況や予防策等の情報提供を行った。 新たに病後児保育事業の実施に向けて関係者と検討を進めた。 【H26実績/H27実績(H26実績との差)】 ○延べ利用者数 236人/137人(△99人)	【目標】 保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成を図るため、病後児保育を実施する。 【目標数値】(H31年度までに) 利用者数162人 病児については病院等への働きかけを進める (子ども・子育て支援事業計画)	社会福祉課	第1章 子どもが夢をもち人が輝くまちづくりへの挑戦 第1節 子育て環境の充実	チャレンジプロジェクト1 ・子育て環境(産科、小児医療、保育サービス等)の確保・充実	4,969,441	1,652,000	1,652,000	10,100	1,655,341	○	【担当課意見】 利用希望に対してほぼ受け入れすることができ、保護者の子育て・就労支援につながっている。 【今後の見通し】 保育所等への事業の周知を図るとともに感染症流行状況や予防策等の情報提供を行う。また広域利用連携を進める。 【その他特記事項】 平成29年度から病児保育を実施する予定
不妊治療費助成事業	H27	【概要】 特定不妊治療(体外受精及び顕微授精)について、費用の一部を助成することにより、不妊治療を希望するカップルの経済的負担の軽減と、子どもを産みやすい環境を確保し、子育て支援対策の充実を図る。	ホームページの掲載、チラシを保健センター・庁内等に配発するとともに西部東保健所などの関係機関と連携し、該当者及び申請を検討している市民に対して継続的に周知し、経済的負担を軽減し、子どもを産みやすい環境づくりに取り組んだ。 【H26実績/H27実績(H26実績との差)】 助成件数 実 6人/6人 延 12件/7件	【目標】 様々な媒体を用いた情報発信により、不妊治療を希望するカップルの経済的負担を軽減し、子どもを産みやすい環境を構築する。	健康福祉課	第1章 子どもが夢をもち人が輝くまちづくりへの挑戦 第1節 子育て環境の充実	チャレンジプロジェクト1 ・子育て環境(産科、小児医療、保育サービス等)の確保・充実	571,017				571,017	—	【担当課意見】 制度の周知が広がり、助成を受ける人が毎年みられている。治療費の一部を助成することで、不妊治療を受けるカップルの経済的負担の軽減と、子どもを産みやすい環境の確保につながっている。 【今後の見通し】 不妊治療を受けるカップルの経済的、精神的負担の軽減及び子どもを産みやすい環境の確保を図るため継続して実施する。
妊婦歯科健康診査事業	H27	【概要】 妊娠中からの妊婦とあかちゃんの歯の健康保持増進を図るため、妊娠中に1人1回、無料で歯科健康診査を実施し、子育て支援対策の充実を図る。 【内容】 妊娠届時に受診券を交付し、竹原市内の歯科医療機関において歯科健診を受診できる。	母子健康手帳の交付時に受診券を交付し、妊婦とあかちゃんの歯の健康の保持増進に取り組んだ。 【H26実績/H27実績(H26実績との差)】 受診者数41人/37人(-4人) 妊娠届出数との受診率 27.7%/30.6% 受診者所見 要治療43%、要指導37%。要治療の内訳 う歯、歯周疾患。	【目標】 妊婦の歯の健康保持増進を図るため、う歯の早期発見早期治療に努める。 【目標数値】 受診者46人	健康福祉課	第3章 健やかで支えあう安心のまちづくりへの挑戦 第1節 医療の充実と健康づくりの推進	チャレンジプロジェクト3 医療提供体制(産科、小児科、救急医療等)の充実	136,900				136,900	○	【担当課意見】 受診券を交付し、受診勧奨を行ったことにより、受診率が増加し、要治療者及び要指導者は医療機関において治療、指導を受け、妊婦とあかちゃんの歯の健康の保持増進につながった。 【今後の見通し】 妊婦とあかちゃんの歯の健康増進を図るため、継続して実施する。
乳幼児等医療費助成事業	H27	乳幼児・児童の疾病の早期発見と治療を促進し、健やかな育成を図るため、医療費の助成を実施している。	県の助成制度(就学前児童に関わる入院、通院時の自己負担額の一部助成)に加えて、市独自の施策として、助成の対象を拡大し、小学6年生修了時まで入院時の自己負担額の一部助成を行った。 【実績】 ・受給者数:2,065人(H27.3.31時点) :1,994人(H28.3.31時点) ・支給件数:28,990件(H26年度) :28,297件(H27年度)	【目標】 乳幼児・児童の疾病の早期発見と治療を促進し、健やかな育成を図る。 【目標数値】	市民課	第1章 子どもが夢をもち人が輝くまちづくりへの挑戦 第1節 子育て環境の充実	チャレンジプロジェクト1 ・子育て環境(産科、小児医療、保育サービス等)の確保・充実	48,177,604		12,194,000	0	35,983,604	—	【担当課意見】 県の助成対象(就学前児童)に加え、市独自の施策として、小学6年生修了時まで拡大して助成を実施している。 【今後の見通し】 継続実施していく。
妊婦・乳児健康診査事業	H27	【概要】 妊娠中からの妊婦の健康管理とあかちゃんの健やかな発育を支援するため、妊婦健康診査支援事業並びに妊婦又は乳児若しくは幼児に対する健康診査等の事業を実施することにより、子育て支援対策の充実を図る。 【主な事業】 ・妊婦健康診査に対する補助(14回分)及び乳児健康診査受診券2回分等で1人当たり105,120円分の受診券を交付する。 ・妊婦健康診査1回受診につき2,000円(上限24,000円)の奨励金を交付する。	妊娠早期である母子健康手帳の交付時に受診券を交付し、受診を促し、妊婦とあかちゃんの健康の保持増進に取り組んだ。 【H26実績/H27実績(H26実績との差)】 妊婦健康診査交付枚数2,646枚/2,244枚(-402) 妊婦支援費支給件数 130件 母子健康手帳交付者数 148人/121人(-27) 補助券平均使用枚数 11.9枚/12.4枚(+0.5)	【目的】 補助券の適正利用を促し、妊婦の健康管理とあかちゃんの健やかな発育を促進する。 【目標数値】	健康福祉課	第1章 子どもが夢をもち人が輝くまちづくりへの挑戦 第1節 子育て環境の充実	チャレンジプロジェクト1 ・子育て環境(産科、小児医療、保育サービス等)の確保・充実	15,868,926				15,868,926	—	【担当課意見】 受診券を妊娠早期に交付したことにより、妊婦健康診査の平均受診回数が増加しており、妊婦の健康管理とあかちゃんの健やかな発育の支援に繋がった。 【今後の見通し】 妊婦とあかちゃんの健康の保持増進及び妊婦健康診査の受診を促進するため継続して実施する。
各種予防接種事業	H27	【概要】 伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために、予防接種法に基づき、定期予防接種を実施し、健康の保持・増進を図る。 【種類】ジフテリア、百日咳、破傷風、ポリオ、麻疹、風しん、日本脳炎、BCG、ヒブ、肺炎球菌、水痘	対象者に対する指導・助言・個人通知等で接種勧奨を行い、乳幼児の健康の保持増進に取り組んだ。 【H27年度主な予防接種の実績(H26年実績との差)】 麻疹風しん97.2%(+1.4%) 肺炎球菌93.2%(+6.8%) ヒブ92.9%(+6.4%) ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ96%(+8.3%)	【目標】 予防接種法に定められた定期予防接種を適正な時期に実施することにより、伝染のおそれがある疾病の発生・まん延を予防するとともに、小児の健康の保持・増進を図る。 【目標数値】 麻疹風しん接種率等90%以上	健康福祉課	第3章 健やかで支えあう安心のまちづくりへの挑戦 第1節 医療の充実と健康づくりの推進	チャレンジプロジェクト1 ・子育て環境(産科、小児医療、保育サービス等)の確保・充実	28,783,462				28,783,462	○	【担当課意見】 接種勧奨に努めた結果、接種率も増加しており(対前年比)、疾病の発生予防及び子どもの健康の保持・増進につながった。 【今後の見通し】 子どもの予防接種率を向上させるため、個人通知・個別指導等により接種勧奨を強化し、引き続き事業を推進していく。

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当する章・節	チャレンジプロジェクト		国	県	その他	一財		
養育医療事業	H27	【概要】 出生時の体重が2,000g以下または身体の発育が未熟のまま出生し、養育医療を受ける必要のある子どもに対し、医療の給付を行い子どもの健康増進及び経済的負担の軽減を図る。	養育医療給付を行い、対象者の費用負担の軽減に努めた。 【H27年度実績(H26年実績との差)】 実人員6人(-1人) 延人員10件(±0)	【目的】 出生時の体重が2,000g以下または身体の発育が未熟のまま出生し、養育医療を受ける必要のある乳児(指定医が認めた乳児)に対し、医療の給付を行い、対象児の健康の保持・増進及び経済的負担の軽減を図る。	健康福祉課	第1章 子どもが夢をもち人が輝くまちづくりへの挑戦 第1節 子育て環境の充実	チャレンジプロジェクト1 ・子育て環境(産科、小児医療、保育サービス等)の確保・充実	889,867	457,631	187,870	128,282	116,084	—	【担当課意見】 対象者への養育医療給付を行ったことにより、対象児の健康増進及び医療費の経済的負担の軽減につながった。  【今後の見通し】 継続実施し、経済的負担の軽減及び子どもの健康増進の保持増進に取組む。

個別事業シート

基本目標 柱  
 ひとの創生  
 ②学校教育の充実

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当する章・節	チャレンジプロジェクト		国	県	その他	一財		
学校ICT活用教育推進事業 (地方創生先行型)	平成27年6月 ～ 平成28年3月	市内小中学校全校にタブレット型端末や授業・学習支援ソフトウェア等を導入し、電子黒板との連携によって、充実したICT活用教育環境の整備を行うものである。 また、市内小中学校にICT支援員を配置し、教員及び児童生徒のICT機器の活用・操作方法の習得の支援を行う。 これらの取組により、児童生徒の情報活用能力育成及び学力の定着向上を目指すものである。	・タブレット型端末を小学校244台、中学校140台導入し、電子黒板を14台拡充しICT機器環境を充実することができた。 ・ICT支援員3名を担当校制により配置し、事業期間合計で525日のICTに係る支援を実施した。また、ICTを活用した授業は、平成27年度調査で、調査期間10日間で小学校1154時間、中学校548時間実施した。(なお、平成26年度調査では、調査期間5日間で小学校454時間、中学校197時間実施。) 【H26実績/H27実績(H26実績との差)】 ○ICT活用授業 未集計/週23時間(23時間) ○市内中学校進学率 88.5%/88.5%(0%) ○HPを活用したPRの回数 0件/6件(6件) ○公開研究会回数 0件/1件(1件)	【目標】 市内小中学校全校に整備されたタブレット型端末を電子黒板等と連携し、授業・学習支援ソフトウェア等の活用により児童生徒の学力向上を図る。 【目標数値】(H31年度までに) ・ICT活用授業各校週10時間以上 ・市内中学校への進学率93%以上 ・HP等を活用したPR10件以上 ・公開研究会年1回	学校教育課	第1章 子どもが夢をもち人が輝くまちづくりへの挑戦 第2節 学校教育の充実	チャレンジプロジェクト1 将来地域で活躍できる人材を育成する教育環境の確保・充実	30,129,580	30,129,580			0	△	【担当課意見】 すべての小中学校にタブレット端末を導入し普通教室で活用可能となったことにより、これまでに整備済の電子黒板等とも連携させ、学校ICT活用した授業時間が増え、本市の学習環境及び授業の質の向上に繋がった。また、すべての学校において、公開研究会でタブレット端末を活用した授業実践を行っており、ICT活用教育が本市全体の取組へと広がっているため。また、ICT支援員を配置したことにより、教員及び児童生徒のICT機器の操作方法の習得が進み、活用場面が広がった。 【今後の見通し】 ICT機器の基礎的な活用方法の習得は進んだため、今後は発展的に活用ができる力を育成し、学力向上と魅力ある授業づくりに引き続き取り組む。
外国語指導助手配置事業	H27	児童生徒の英語力向上と国際理解の深化及び教職員の英語指導における資質向上を図る。 ALT(外国語指導助手)を雇用し、小学校の外国語活動又は中学校の英語科の授業をチームティーチングで行う。	・市内幼稚園1園、小学校9校、中学校4校にALT(外国語指導助手)を3名配置し、児童生徒の英語力とコミュニケーション能力の向上や国際理解の充実を図った。 ・ALTとのチームティーチングを行うことを通じて、小・中学校の外国語活動および英語教育の教員の指導力向上を推進した。	【目標】 ALTとのチームティーチングにより授業改善が図られ、教職員の指導力が向上し、児童生徒の英語力が向上する。	学校教育課	第1章 子どもが夢をもち人が輝くまちづくりへの挑戦 第2節 学校教育の充実	チャレンジプロジェクト1 将来地域で活躍できる人材を育成する教育環境の確保・充実	12,062,419				12,062,419	—	【担当課意見】 ALTとのチームティーチングで授業を行うことにより、アンケート調査で「外国人とコミュニケーションを図りたい」と答えた児童が74.5%、生徒が61.1%と、いずれも広島県の平均を上回るなど、児童生徒のコミュニケーション力や英語力の向上につながった。また、ALTとのチームティーチングで授業を行うことにより、指導する日本人教師が、クラスルーム・イングリッシュを使った授業を行ったり、ねらいに効果的に迫る活動を設定したりするなど、授業構成に工夫が見られるようになり、教員の指導力の向上につながった。 【今後の見通し】 平成28年度9月からは、ALTを一人増員して4名体制にすることにより、小・中学年のALTによるチームティーチング授業を年間27時間程度増やし、児童生徒の英語力向上と国際理解の一層の充実を図る。 ※クラスルームイングリッシュ・・・教師の掛け声やあいさつ、指示など、授業中に使われる英語
竹原っこ夢プロジェクト事業	H27	児童生徒が夢と希望をもち、将来に向けて自主的・主体的に生きていくための「生きる力」を育むことを目的とする。 児童生徒から、本市の地域資源をテーマとした夢や希望を募集し、その実現に向けて支援を行う。	・小学校2校、中学校1校において本事業を実施した。 【賀茂川中学校】「自分達の学校を訪れた人達に、清潔で気持ちのよい学校であると感じてほしい」「竹原の地を訪れた人達に、郷土竹原の豊かな自然や風土を感じてほしい」という生徒の願いから、清掃の技術や重要性について学び、日ごろの学校清掃だけでなく、地域清掃、出身小学校での小学生とともに里帰り清掃に取り組み、「おもてなし」の気持ちをもって清掃活動を進めることができた。 【東野小学校】「東野の歴史を表現した『東野太鼓』をよりかっこよくし、伝統としてつなげていきたい」という児童の願いを元に、演奏時に着用する法被作りに取り組んだ。学校行事や地域行事に、その法被を着て「東野太鼓」を発表することができた。地域資源である「東野太鼓」を自分たちなりの方法で伝えることを通じて、郷土に対する親しみを感じることができた。 【大乗小学校】「『峠下牛』はどのようにして育てられているのか知りたい」「おいしいお肉をもっとたくさんの人に食べてほしい」という児童の思いから、「峠下牛」のすばらしさを調査し、体験活動を通して実感し、地元之宝として定着させ、地域の特産物として広めるための活動を行った。 【H26実績/H27実績】 ○実施校数 小学校 2校 / 2校 中学校 1校 / 1校	【目標】 児童生徒が、本市の地域資源に関する夢や希望を実現することを通して、郷土愛が育ち生きる力が育まれる。	学校教育課	第1章 子どもが夢をもち人が輝くまちづくりへの挑戦 第2節 学校教育の充実	チャレンジプロジェクト1 将来地域で活躍できる人材を育成する教育環境の確保・充実	998,204			998,204	0	—	【担当課意見】 児童生徒の地域資源を活用した夢や希望を実現する活動において、児童生徒の自主性・主体性を発揮する姿が見られ、生きる力を育成することにつながった。 【今後の見通し】 次年度も、この事業を積極的に活用し、児童生徒に自主性・主体性を発揮して生きていくための「生きる力」を育んでいく。
竹原市キャリア・スタート・ウィーク事業	H27	竹原市立中学校第2学年の生徒が市内の事業所で職場体験をすることを通して、望ましい勤労観、職業観の育成を図るとともに郷土愛を育むものである。	・市内約130の事業所において中学2年生198名が職場体験学習を行った。 【H26実績/H27実績】 ○体験者数 208名 / 198名	【目標】 職場体験を通して、竹原市立中学校第2学年の生徒に望ましい勤労観、職業観が育成される。	学校教育課	第1章 子どもが夢をもち人が輝くまちづくりへの挑戦 第2節 学校教育の充実	チャレンジプロジェクト1 将来地域で活躍できる人材を育成する教育環境の確保・充実	36,000				36,000	—	【担当課意見】 職場体験活動を実施したことにより、生徒の勤労観・職業観の育成が図られ、事後アンケートで約8割の生徒が「目標の実現のためにすべきことが分かっている」と答えるなど、進路意識・目的意識が高まったと考えられる。また、「私は自分が住んでいる町が好き」と答えた生徒が96%であり、生徒の郷土愛を醸成することもできたと考えられる。 【今後の見通し】 小学校から中学校のキャリア教育の系統性を明確にするのと同時に、中学校での職場体験活動の事前・事後指導の充実を図る。

個別事業シート

基本目標  
柱

ひとの創生  
③観光の振興

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当する章・節	チャレンジプロジェクト		国	県	その他	一財		
地域活性化イベント事業	H27	竹原の自然や歴史文化を感じることでる機会を観光客に提供することを目的に、桜まつり(4月)、竹まつり(5月)、夏まつり(8月)、憧憬の路(10月)を開催する。	桜まつり(4月)竹まつり(5月)、夏まつり(8月)、憧憬の路(10月)を開催した。 (平成27年度来場者数) ○桜まつり 12,000人(前年比同数) ○竹まつり 30,000人(前年比+12,000人) ○憧憬の路 35,000人(前年比+5,000人)	【目標】 各種イベントを通じて竹原の自然や歴史文化を感じることでる機会を観光客に提供する。 【目標数値】	産業振興課	第2章 人が集まる元気なまちづくりへの挑戦 第4節 観光の振興	チャレンジプロジェクト2 地域資源を活かした更なる観光振興	5,250,000				5,250,000	—	【担当課意見】 多くの観光客が訪れたことにより、竹まつり及び憧憬の路は過去最高の集客数となった。  【今後の見通し】 イベント内容を見直し、入込観光客の増加につなげる。
民間事業者等のノウハウを活用した誘客強化事業	H27	新たな誘客及び相互周遊を促進するため、広島県及び東広島・呉自動車道の沿線市町と連携し、トークショーやシールラリー等の周遊キャンペーンを開催する。	広島県及び東広島・呉自動車道の沿線市町と連携し、トークショーやシールラリー等の周遊キャンペーンを2回にわたり実施した。 ○平成27年6月6日・7日開催 ひろしま3都、道めぐり『道めぐりフェスタ』 ○平成28年1月29日～3月21日開催 広島酒処漫遊録 参加者256人 参加者のうち、本市来訪者数241人	【目標】 東広島・呉自動車道沿線における広域的な周遊観光を促進する。 【目標数値】	産業振興課	第2章 人が集まる元気なまちづくりへの挑戦 第4節 観光の振興	チャレンジプロジェクト2 地域資源を活かした更なる観光振興	0				0	—	【担当課意見】 イベント開催や共同による情報発信を行ったことにより、沿線市町との連携強化や観光エリアとしての一体感を醸成することができた。  【今後の見通し】 アンケート結果を検証し、成果・課題を踏まえ、広域観光ルートの形成を推進する。  【その他特記事項】 県事業(参画市:竹原市, 東広島市, 呉市)
JR呉線開業80周年記念事業	H27	新たな誘客及び相互周遊を促進するため、JR呉線沿線市町と連携し、JR呉線開業80周年を記念したキャンペーン及びイベントを実施する。	JR呉線沿線市町と連携し、JR呉線開業80周年を記念したキャンペーン及びイベントを実施した。 ○平成27年5月2日～平成28年3月31日開催 マリンくんポイントラリー 参加市町観光周遊者数1,796人  ○平成27年11月21日開催 呉線開業80周年記念式典	【目標】 JR呉線沿線市町における広域的な周遊観光を促進する。 【目標数値】	産業振興課	第2章 人が集まる元気なまちづくりへの挑戦 第4節 観光の振興	チャレンジプロジェクト2 地域資源を活かした更なる観光振興	306,000				306,000	—	【担当課意見】 イベント開催や共同による情報発信・観光PRを行ったことにより、沿線市町を周遊する観光客を創出でき、市町間の連携強化や観光エリアとしての一体感を醸成し、広域での周遊観光を促すことができた。  【今後の見通し】 成果・課題を踏まえ次年度以降の広域周遊観光施策に反映させる。  【その他特記事項】 瀬戸内さざなみ線利用促進委員会(構成市:竹原市, 呉市, 東広島市, 三原市)負担金
道の駅管理事業	H27	道路の利用者に対し良好な休憩場所を提供し、観光情報を含む地域情報の発信及び地元産品の販売による地域の活性化に寄るとともに、地域の防災拠点として市民の福祉の向上を図ることを目的に道の駅たけはらの管理運営を行う。	平成27年度においては、地域情報の発信、地元産品の販売など通常の指定管理業務に加え、もちつき大会やカラオケ大会、生産者との共同視察研修など新たな取り組みを実施した。	【目標】 道路の利用者に対し良好な休憩場所を提供し、地域情報の発信及び地元産品の販売による地域の活性化に寄るとともに、地域の防災拠点として市民の福祉の向上を図る。 【目標数値】	産業振興課	第2章 人が集まる元気なまちづくりへの挑戦 第4節 観光の振興	チャレンジプロジェクト2 地域資源を活かした更なる観光振興	15,662,909				15,662,909	—	【担当課意見】 「マツサン」の終了等の影響により施設利用者数について前年比で減少しており、その結果売上額も減少している。  【今後の見通し】 農産物や加工品、レストラン業務など全体としての売上向上を目指す。
外国人観光客誘致アクションプラン策定事業(地方創生先行型)	H27	急増する大久野島への外国人観光客を町並み保存地区等他の観光ポイントへ周遊を促すため、本市におけるこれからのインバウンド施策の方針となるアクションプランを策定する。	・国、県等の既存データによるインバウンド情報を収集 ・大久野島を訪れる外国人観光客の動態調査を実施 ・外国人留学生による2泊3日のモニターツアーの実施 ・インバウンド専門家による意見を踏まえ今後の方向性等を集約 上記事業を実施し、「竹原ブラッシュアップアクションプラン」を策定した	【目標】 急増する大久野島への外国人観光客を町並み保存地区等他の観光ポイントへ周遊を促す。 【目標数値】 平成31年までに町並み保存地区を訪れる外国人観光客数を500人	産業振興課	第2章 人が集まる元気なまちを育てよう 第4節 観光の振興	チャレンジプロジェクト2 地域資源を活かした更なる観光振興	7,894,800	7,894,800			0	—	【担当課意見】 契約から業務完了まで5か月の短期間であったが、予定する全ての業務を滞りなく実施できた。  【今後の見通し】 本計画により得られた成果や明らかになった課題を踏まえ次年度以降のインバウンド施策に反映させる。
公共無料Wi-Fi整備事業(地方創生先行型)	H27	急増する大久野島への外国人観光客を町並み保存地区等他の観光ポイントへ周遊を促すため、動線上の主要ポイントに公共無料Wi-Fiアクセスポイントを整備する。	○アクセスポイントを4箇所設置 忠海港・ふれあいステーションただのうみ・竹原駅前観光案内処・町並み保存センター	【目標】 急増する大久野島への外国人観光客を町並み保存地区等他の観光ポイントへ周遊を促す。 【目標数値】 平成31年までに町並み保存地区を訪れる外国人観光客数を500人	産業振興課	第2章 人が集まる元気なまちを育てよう 第4節 観光の振興	チャレンジプロジェクト2 地域資源を活かした更なる観光振興	4,465,368	4,465,368			0	—	【担当課意見】 4箇所全てにおいてアクセスポイントを設置した。  【今後の見通し】 今後は、Wi-Fi利用者の移動傾向などのログ分析を行い、今後の観光戦略の検討及び事業構築等に活用していく。

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当する章・節	チャレンジプロジェクト		国	県	その他	一財		
伝統的建造物群保存地区保存修理・修景事業	H27	竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区を保存するため、保存地区内における建造物等の修理・修景を実施する。	保存修理・修景事業を2件実施した。(萬岡家、本岡家)	【目標】重要伝統的建造物群保存地区内建造物の保存  【目標数値】	文化生涯学習課	第4章竹原のもつ住みよい環境づくりへの挑戦 第1節歴史文化の保存・継承・活用	チャレンジプロジェクト4 町並み保存地区の更なる活用・魅力づくり	12,100,000	6,050,000	750,000		5,300,000	—	【担当課意見】 予定していた2件を実施した事により、対象家屋の修理ができ重要伝統的建造物群保存地区内建造物の一部を保存できた。 【今後の見通し】 平成28年度は3件実施することとしており、今後も計画的に実施する。
文化財管理事業	H27	・文化財の維持管理及び文化4施設(森川邸・松阪邸・光本邸・歴史民俗資料館)の指定管理者により管理する。 ・吉井家住宅管理及びその他文化財を管理する。	・指定文化財管理および整備委託 ・文化施設管理委託 ・庭木管理業務委託 ・町並み保存地区内の白蟻駆除委託 ・吉井家住宅調査研究委託等  【H26実績/H27実績(H26実績との差)】 108,005人/104,775人(△3,230人)	【目標】文化財及び文化施設の適切な管理を行う。  【目標数値】市公開重要文化財利用者年間31,000人以上	文化生涯学習課	第4章 竹原のもつ住みよい環境づくりへの挑戦 第1節 歴史文化の保存・継承・活用	チャレンジプロジェクト4 町並み保存地区の更なる活用・魅力づくり	17,838,008	0	0	0	17,838,008	○	【担当課意見】 有識者の意見を参考に行なった業務(吉井家住宅調査)等を実施した事により、文化施設の適正な管理が実行できた。 【今後の見通し】 今後も吉井家住宅の調査及び文化財の修繕等については有識者の意見を参考に、また文化施設の管理については利用状況を把握しながら事業を進めて行く。

個別事業シート

基本目標 柱 ひとの創生 ④情報発信力の強化

事業名	事業期間	事業概要(全体)	当該年度の取組	事業の目標(あれば目標数値)	所管課	総合計画での位置付け		決算額(円)	財源内訳				評価	備考 (検証にあたっての担当課意見等)
						該当する章・節	チャレンジプロジェクト		国	県	その他	一財		
広報事業	H27	公正で開かれた市政を推進するとともに、市民の市政に対する理解やまちづくりへの意識啓発を図り、本市等が行う各施策の効果を更に高めるため、広報紙並びにホームページやツイッター・フェイスブックなど様々な媒体での効果的な情報発信を行う。	月に1回、広報紙(12,000部/月)を自治会加入者へ各戸配布し、自治会未加入世帯も広報紙を手に入れることができるように市庁舎や支所・出張所、道の駅やJR竹原駅など市内施設へ設置している。 また、ホームページやツイッター・フェイスブックなど様々な媒体も活用し、随時情報を更新・発信した。 【H26実績/H27実績(H26実績との差)】 ○報道件数 55件/61件(+6件) ○HP年間アクセス数 280,427件/342,041件(+61,614件) ○フェイスブック「いいね」件数 1,251件/1,679件(+428件) ○ツイッター「フォロワー」数 2,885件/3,495件(+610件)	【目標】 様々な媒体を活用した情報発信を行うことで、市の施策や事業等を周知し、各種施策の効果を高める。 【目標数値】(H31年度までに) 報道件数 80件 HPアクセス数 300,000件/年 フェイスブック「いいね」数 1,800件 ツイッターフォロワー数 4,200件 (竹原市まち・ひと・しごと創生総合戦略)	企画政策課	5章 安全でしっかりとした都市基盤づくりへの挑戦 第6節 情報通信基盤の整備・活用 第6章 みんなで築くまちづくりへの挑戦 第3節 計画的で効率的な開かれた行財政運営の推進 第4節 広域的な交流・連携の推進		9,937,012				9,937,012	○	【担当課意見】 定期的に発行する広報紙に加え、ホームページ等の各種媒体などで最新情報を随時発信した結果、HPアクセス件数等は概ね増加しており、市の施策や事業等を周知することができた。  【今後の見通し】 今後についても各事業担当部署と連携しながら、様々な媒体を活用し、市民ニーズに合う情報発信ができるよう取り組む。
職員出前講座事業	H27	公正で開かれた市政を推進していくため、また、市民の市政に対する理解を深め、まちづくりへの意識啓発を図るとともに、市民の要望及び意見を幅広く市政に反映させ、市民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、市が行っている事業等について、市民等が構成する団体から申請があった場合、集会、学習会等に市職員を派遣し、説明及び懇談会を行う。	4月に出前講座メニューの見直しを行い、広報5月号及び市ホームページで今年度出前講座メニューを発信し、申請のあったものについて説明会等を実施した。 【H26実績/H27実績(H26実績との差)】 ○出前講座実施件数 37件/55件(+18) ※H27はマイナンバー説明会を含む。	【目標】 出前講座等の説明会で直に市民へ施策等の説明を行うことで、市民の市政に対する理解を深め、市民の協働のまちづくりへの意識を高める。 【目標数値】	企画政策課	第6章 みんなで築くまちづくりへの挑戦 第3節 計画的で効率的な開かれた行財政運営の推進		0				0	—	【担当課意見】 出前講座メニューの見直しを行い、メニューにはないがマイナンバーの説明会も実施した結果、合計すると例年の実施件数(H26年度37件→H27年度55件)を上回っており、市民の市政に対する理解を深めることにつながっていると考える。  【今後の見通し】 今後についても、各事業担当部署と連携しながら、説明会等の積極的な実施に努める。また、地方創生・マイナンバーをメニューに追加予定であり、ごみ袋の有料化もあることから説明会の実施件数はH27年度を上回る見込。